令和５年度（2023）～令和７年度（2025）までのグランドデザイン

【八幡小の役割】
- 学ぶ意欲を高める子を育成する
- 自己有用感や人権意識の伸長を図る
- 八幡地域の歴史や文化を知り、豊かな体験を通してふるさとへの愛着を深める

【学校の教育目標】

進んでやりぬく

考える子　思いやる子　元気な子

【市の教育方針】

～凌霜の心で拓く明日の郡上市～
自立・共生・創拓
あいさつ・ことば・働くこと
「まめで　なにくそ　おかげさま」

【基本理念】

「一人ひとりの可能性が拓く学校」

教師の構え

「子どもがもつ可能性を尊重し、子どもを柔軟に受けとめ、子どもたちが内面にもつ、伸びようとしているエネルギーを大切にして、教育を想像する

〇凡事徹底　〇師弟同考

子どもの土台

☆「大切にしたい５つの目標」
あいさつ　なかま　あんぜん
そうじ　じかん

☆COCOKARA ルームの新設

【経営方針】
- 〇「考える子」　→　自分のよさや可能性を認識し、自律に向かう子の育成
- 〇「思いやる子」→　あらゆる他者を認め、尊重し自己有用感を高めることができる子の育成
- 〇「元気な子」　→　安心や安全を生み出し健康的な生活ができる子の育成

特別支援教育の充実

UD を意識した授業・環境づくり

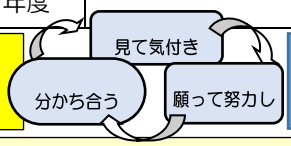
よさや持ち味を発揮し機能する職員集団
- 夢、情熱と誇りをもち、子ども・保護者・地域から信頼される。（キャリアデザインの共有）
- 未来を生きる子どもをイメージし、目指す授業像に向かい授業改善を図る。
- 第一に命の教育、第二に人権教育、第三に教育効果
- 働き方改革に向けた校務支援システムの活用

目指す子ども像・学校像を共有し、「共育」を推進する学校、家庭・地域
- 特別支援教育の推進（郡上市南部のコア）
- 積極的な教育相談と教育相談室の経営
- 郡上学講師(地域人材･企業等)の活用
- 八幡ブロック教育推進プランの実践
- 学校運営協議会の役割

【八幡小の指定：役割】

	学力向上（考える子）	命の教育（思いやる子）	特別支援教育（元気な子）
令和５年度	10 月 20 日　郡上市教育委員会指定　公表会（算数）	４月　研究構想の確定	言語通級指導の巡回の実施
令和６年度	郡上市教育委員会指定終了	11月１日　中部地区小学校道徳教育研究大会　岐阜大会	南部　特別支援教育のコアの推進
令和７年度		道徳教育の深化（命の教育）	特別支援教育の推進

子どもの STAGE



4～５月 願い・安心 → 6～７月 動く・関わる → 8～９月 協　力 → 10～11 月 挑　戦 → 12～１月 高める → 2～3 月 感謝・決意

＜自ら学ぶ部＞
- 〇つけたい力を明確にし、授業や家庭学習を通して、基礎的な学力が身につく指導をする。
- 〇伝え合い、深め合う活動を工夫し、主体的に学び合う授業づくりをする。
- 〇UD の考えをもとに、ＩＣＴを学びの中で積極的に活用する。
- 〇一人一人の教育的ニーズに応じた支援や指導

【重点】
- 研究推進　・道徳教育　・特別支援教育
- 人権教育　・家庭学習　・ＩＣＴの活用

＜共に創る部＞
- 〇「大切にしたい５つの目標」を中核に、児童の主体性を高める行事や活動を通して、絆づくりをする。
- 〇子どもにとって楽しさとやりがいのある行事を工夫していく。
- 〇「命の教育カリキュラム」にもとづき、自他の命を大切する集団づくりをする。

【重点】
- 大切にしたい〇つの目標（児童会）
- 命の教育カリキュラム　・キャリアパスポート
- マイサポーター

心身共に健康で元気に子どもと向き合うことができる働き方改革の推進（校務支援システム）